

平成28年度 一般会計 当初予算の概要
後期高齢者医療特別会計

一般会計

●当初予算額

1億8,610万3千円 (対前年度比 △0.6%減)

●主な事業内容

派遣職員給与等負担金(25人) 1億7,217万5千円

その他、広域連合の組織運営に関する事務経費

●主な減少要因

派遣職員給与等負担金その他事務経費の節減によるものである。

後期高齢者医療特別会計

●当初予算額

2,026億135万6千円 (対前年度比 0.6%増)

●主な事業内容

保険給付費 医療機関等に支払う医療費等の負担金

2,018億3,104万3千円 (対前年度比 0.6%増)

総務費 被保険者の資格管理・給付に係る事務経費、電算機器の賃借料等

2億9,348万5千円 (対前年度比 1.2%増)

保健事業費 健康診査業務委託料、市町実施の高齢者の健康づくり事業への補助等

2億7,970万8千円 (対前年度比 0.8%増)

●主な増減要因

(歳出)

- ・保険給付費については、被保険者数及び一人当たり医療費の増によるものである。
- ・総務費については、後発医薬品差額通知業務委託料の増(院内処方を対象に加えたこと)によるものである。
- ・保健事業費については、被保険者数の伸びに伴う健診対象者の増によるものである。

(歳入)

- ・繰入金については、保険料軽減措置のために設置していた「臨時特例基金」について、国の方針に基づき平成27年度で廃止することに伴い皆減する。